

No. 1254 ニワトリの腸管

一般財団法人 日本生物科学研究所

**[動物]** ニワトリ, 卵用鶏, 90 日齢.

**[臨床症状]** 30 万羽規模の農場において, 50 日齢頃から死亡が発生し始め, ピーク時の死亡鶏は約 100 羽/日となった. 死亡鶏の剖検において, 肝臓および脾臓の腫大あるいは心膜混濁などが観察された. 本症例は病性鑑定に供された 6 羽の内の 1 羽である.

**[剖検所見]** 高度に消瘦しており, 胸腺およびファブリキウス嚢は萎縮していた.

**[組織所見]** 盲腸扁桃において, 多巣性に肉芽腫の形成が認められた. 肉芽腫の中心部は乾酪壊死を呈していた. 壊死巣には多数の桿菌が認められ, グラム染色を実施すると陽性を示した. また, 桿菌はグロコット染色に陽性, PAS 反応および抗酸菌染色に陰性を示した.

**[診断]** グラム陽性桿菌を伴う乾酪性肉芽腫

**[考察]** 本症例は全身の病理検査結果からマレック病と診断されており, 提出標本と同様の肉芽腫性病変は他の臓器には認められなかった. このことから, 本所例はマレック病発症によって引き起こされた免疫抑制により, ある種の腸内細菌の病原性が顕在化したことで生じた日和見的な病態であることが考えられた. また, 特殊染色および超微形態学的検索の結果から, 肉芽腫内に認められた桿菌は *Eubacterium* 属の特徴に類似していると考えられるが, 確定的な診断には至らなかった.

**[参考文献]**

- 1) Hafner, S., Harmon, B. G., Thayer, S. G. and Hall, S. M. 1994. Splenic granulomas in broiler chickens produced experimentally by inoculation with *Eubacterium tortuosum*. Avian Dis. 38: 605-609.
- 2) Hill, J. E., Kelley, L. C. and Langheinrich, K. A. 1992. Visceral granulomas in chickens infected with a filamentous bacteria. Avian Dis. 36: 172-176.
- 3) Williams, S. M., Hafner, S. and Sundram, Y. 2007. Liver granulomas due to *Eubacterium tortuosum* in a seven-week-old Bobwhite quail. Avian Dis. 51: 797-799.

(小野浩輝)